



平成28年4月21日

市民フォーラム「ゲノム医療と科学の最先端」を開催

岡山大学病院は5月29日、市民フォーラム「ゲノム医療と科学の最先端」を本学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall（通称：Jホール）にて開催します。遺伝子（ゲノム）医療の中核を担う「岡山大学病院バイオバンク（以下、岡大バイオバンク）」の取り組みを紹介するほか、3人の研究者による遺伝子に関する話題を提供します。

本フォーラムでは、科学や遺伝子に興味のある高校生やその保護者、学生など幅広いターゲットに対して、「遺伝子（ゲノム）医療」をテーマに各領域を代表する研究者が分かりやすく解説します。高校生をはじめ市民の皆様にも、遺伝子に関する知識やサイエンス全般に関する興味を深めていただくとともに、大学の担う「医療に基づく社会貢献」に寄与したいと考えます。

なお、当日参加した高校生のうち、院内ツアー、市民フォーラムの聴講、体験学習の感想文提出の3つの課題すべてを修了した方全員に、「遺伝子医療に関する体験型学習修了証」を発行します。

【日時】 平成28年5月29日（日）13：30～16：00

【場所】 岡山大学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall（Jホール）

【内容】

<講演1> 岡大バイオバンクの取り組みについて

講師：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(医)臨床遺伝子医療学分野 豊岡 伸一 教授
ゲノム医療と、医学研究を支えるバイオバンクの仕組みとその取り組みについて紹介します。

<講演2> 遺伝子の不思議

講師：岡山大学病院皮膚科・メラノーマセンター 梅村 啓史 助教
「生物の設計図」と呼ばれる遺伝子について、その基本的な仕組みとともに、個人の体質や病気との関係について分かりやすい解説を行います。

<講演3> 腸内環境とアスリートのパフォーマンス

講師：岡山大学大学院環境生命科学研究科 動物応用微生物学 森田 英利 教授
アスリートのお腹の中はどうなっている？近年、急速に解明が進む腸内フローラ（腸内細菌叢）の視点から、トップアスリートのパフォーマンスに関する秘密に迫る研究を紹介します。



PRESS RELEASE

<講演 4>スーパーコンピュータと人工知能で挑む創薬と医療

講師：京都大学大学院医学研究科 臨床システム腫瘍学 奥野 恭史 教授

スーパーコンピュータ「京」や人工知能といった最新のITテクノロジーが切り開く最先端の薬づくりや医療の未来についてお話しします。

<院内ツアー>

当日は、高校生を対象に院内ツアー（先着45人、要事前申し込み）を開催します。シミュレーションセンターで手術用医療機器の模擬使用体験ができるほか、病院内のハイブリッド手術室やロボット手術室、ゲノム医療を司るバイオバンク部門の最新研究機器の見学ができます。

第一部： 12:00～13:15

第二部： 15:45～17:00

Jホール前集合→シミュレーションセンター（医歯薬融合型教育研究棟）→バイオバンク（中央診療棟）→手術室（総合診療棟）

【申し込み方法】

5月20日までに氏名、〒住所、電話番号、学校名、学年を明記し、「市民フォーラム係」[Eメール (genome-forum1@okayama-u.ac.jp)] まで。お申し込みは先着順となります。

参加費：無料

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（医）

臨床遺伝子医療学講座

教授 豊岡 伸一

准教授 富田 秀太

（電話番号）086-235-7436

（FAX番号）086-235-7437

岡山大学病院新医療研究開発センター

講師 櫻井 淳

（電話番号）086-235-6504

（FAX番号）086-235-6505